

育て花筐っ子 ～ふるさと・夢・未来～

越前市立花筐小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	0 回
地域及び家庭への学校公開	15回 (のべ) 15日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	34人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	360人
登下校支援ボランティア	340人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「学習サポートボランティアの取り組み」

具体的活動内容

○概要

本校は、今年度の研究テーマに「伝え合い、学び合う子の育成」を掲げ、①言語活動の充実を図り、指導力向上をめざす授業実践。②言語活動を充実させるための言語環境の整備と活用。という二点に力を入れることにした。そこで、学年ごとに思考力・判断力・表現力をはぐくむための学習活動にポイントを絞り、生活科や総合的な学習、国語、社会における調べ学習を中心に、図書ボランティア、図書館司書、寄り添い隊（保護者）等学習サポートボランティアの支援を組み込んで授業に取り組んだ。

○実践例



1年生「生きもの調べ」(国語)

1年生は、国語科の「いきものとなかよし」や「じどう車くらべ」において図書室で参考図書を活用した調べ学習を行い、学習サポーターに読めない字を読んでもらったり、児童が発見したことについて「すごいね。」とほめてもらったりする寄り添い活動の支援を受けた。

3、4年生は、総合的な学習で図書やインターネットで調べる方法について支援をしてもらった。ネット検索では、ローマ字入力に時間がかかったり、難しい漢字の読みに活動が止まったりしてしまうような場面で、サポーターの存在が大変有り難い展開となった。また、まとめていく段階でも、いろいろなヒントをもらうことができ、学習が深まった。

らった。ネット検索では、ローマ字入力に時間がかかったり、難しい漢字の読みに活動が止まったりしてしまうような場面で、サポーターの存在が大変有り難い展開となった。また、まとめていく段階でも、いろいろなヒントをもらうことができ、学習が深まった。



4年生「ゴミと環境」(総合)

成果と課題

低学年では、授業の終わりまで学習のめあてにそった調べ学習ができ、共感してもらったりほめてもらったりして、調べる活動が好きになったようだ。中学年では、グループや個人の課題に応じた支援が得られ、学習がスムーズに進んだ。教師自身も、資料の精選やPC検索での範囲について学ぶことが多かった。今後は、児童につけさせたい力の実態把握と図書館、PC室のメディアセンターとしての役割を明確にし、図書館やICT、地域人材を有効に活用したい。